

## 大分発「みまもりシステム」、高齢化が進むタイへ！

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社エイビス(大分県大分市、吉武俊一代表取締役社長)が提案する「福祉・保健医療向上に向けた ICT 技術を活用した「みまもりシステム」にかかる案件化調査」(タイ)を採択しました。

タイは東南アジアの中でも高齢化のスピードが早く、2022年に少子化の影響から高齢社会になると予測されています。同国では家族が自宅で介護をするのが一般的でしたが、高齢単身者の増加、核家族化、共働きの増加等から、家族を中心とした介護体制の維持が懸念されています。また医療現場においても看護だけでなく介護が必要となる場面が増える中、看護師や介護スタッフの人材不足が指摘されています。

今回タイへ提案する同社の「みまもりシステム」は、圧力センサで人の動き、振動センサで体動変化を検知し、独自のアルゴリズムで解析することで看護・介護対象者の転倒や転落を予測します。事故を未然に防ぎ対象者の安全を守るだけでなく、看護師や介護スタッフの負担を軽減するシステムとして日本の様々な施設で導入されている製品です。同社は内閣府が定めた総合特区である東九州メディカルバレー構想の参画企業であり、地元大分での産学官連携の基、タイの複数の施設で「みまもりシステム」の有効性を検証します。



この調査は、我が国の中小企業を対象とし「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2015 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行いました。120 件の応募のうち 34 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2015 年度第 2 回公示の採択結果について

URL : <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州国際センター 担当: 土屋 TEL 093-671-8204

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 千葉(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail : [pdtfs@jica.go.jp](mailto:pdtfs@jica.go.jp)